

# 令和5年度事業計画

社会福祉法人 みらい育心会

令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和5年3月

はじめに

今回認可化移行から7年目を迎える事ができました。これもひとえに理事・評議員・職員・保護者の方のご協力によりスムーズな運営ができたことによるものです。心より感謝申し上げます。昨年までは、色々な行事や行動を制限される中、保育の充実を図ってきましたが、今年度から、感染予防対策が、緩和されますが、基本的な予防対策をとりながら、地域のニーズに応え、保護者に寄り添うことのできるような保育園を目指し、開かれた児童福祉施設として、独自事業の実施と関係機関（近隣小学校・保育所・福祉施設等）との連携により、地域の子育て支援の拠点の一つとなるように職員一同頑張りたいと思います。また、たけのこ保育園の特色を生かす保育を行いたいと思います。

### 「安全に保育する事を第一に心掛けています」

「社会の常識を身につける」

「ルールがある事を知る」

「あいさつをしっかりとる」

「自分も他人も傷つけない」

## 1 施設運営

### (1) 児童の処遇

#### ア クラス編成

クラス名	年齢	園児数(4/1)	園児数(7/1)
未満児	0歳	6人(6人)	7人(1)
	1歳	11人(1人)	11人
	2歳	11人(6人)	11人
ふたば	3歳	11人(1人)	11人
さくら	4歳	13人(1人)	13人
うめ	5歳	7人	7人
合計		59人(15人)	60人(1人)

#### イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 292日
24	24	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	24	

## ウ 健康管理

保育園は、子ども達が一日の多くの時間を過ごす場所であることから、健康面については細心の注意を払って、きめ細かく、子ども達の体調に留意した保育を行っていく。

### 【子どもたちの健康面に関する具体的取組】

※定期的に園医が来園し健康診断・歯科検診を行う。(下記一覧参照)

※入園前に園医による入園前健康診断の受診実施。

※在園児の予防接種の記録並びに在園児の法定伝染病の罹患記録を園に保管、随時更新する。

※毎月身長体重を測定し、その結果を健康カードに記入し、保護者にも伝える。

※乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、0、1歳児は、5分おき、2歳児は、10分おきの午睡チェックを行う。(うつぶせで寝ないように気を配る。)

※0・1歳児は1日2回、2歳児は、1日1回検温を行う。(体調が思わしくないときは、更に、こまめに検温をする。)

※毎朝、視察やコミュニナビなどを使用し登園前のご家庭での様子を確実に担任に引き継ぐ体制を作る。

※温度計・湿度計を各保育室に設置し、室内環境の維持を心掛ける。

※加湿器や空気清浄機・ミニクローラ(次亜塩素酸)を使用し、ウイルスの飛散の防止に努める。

※害虫駆除を定期的実施する。

※定期的に、手すり・ドアノブをアルコール消毒で行う。

### 年間保健行事

内科健診	年2回
歯科健診	年1回

## エ 保育全体目標

### 強いからだと意欲的で粘り強いところを育てていく

・自分らしく過ごす中で、友達との協力・競争を経験し、挑戦する気持ちや努力していく過程を大事にし、育てていきたいと思えます

### 保育理念

- 健康で明るい子供を育てる。
- 一人一人の個性を大切にしながら子供の内に秘めた可能性を伸ばす。
- 基本的な生活習慣を身につけさせる。

### 保育者の関わる姿勢

- 1、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を視野に入れて子どもと関わる。
- 2、子ども達が安心して過ごすことの出来る生活の場を提供していく。
- 3、子ども達の人権を尊重し、個性を大切にしながら、のびのびと成長することが出来る環境設定を行っていく。
- 4、子ども達の最も身近な大人の一人として、また、人間の基礎をつくる大事な時期に多くの時間を関わる者として、自覚を持ち、子ども達の模範となるような言葉かけや動きを実践する。
- 5、子ども達がやさしさや思いやりを持ち、更には基本的な生活習慣を習得し、ルールの大切さを自分自身で感じ取れるような保育を心掛けていく。
- 6、自分のやりたい遊びを提案し、新しい発想を出し合い自発的で柔軟な考え方の遊びを大事にしていく。

#### カ 主な行事予定

	行事	毎月のねらい	働き掛けのポイント
4月	入園式 進級式 親子遠足	進級した喜びを感じながら意欲的に過ごす。 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。	進級した喜びを感じられるよう声掛けをし、環境を整える。
5月	誕生会(4・5月) 避難訓練(消防署立会い)	戸外遊びに進んで参加し、体を動かして遊ぶ。園生活のリズムが分かり安心して遊ぶ。季節の行事を知る。	自分の気持ちが上手く言葉で表せずトラブルも多くなってくるので声掛け気配りをしっかりする。
6月	運動会 歯科検診・健康診断 観劇会(劇団パレット)	運動会を通して、皆で力を合わせて表現する喜びや協同する面白さを感じる。梅雨期を健康で安全に過ごす。 歯みがきの大切さを知る。	出来た事や努力したことを認めあい、みんなで協力する環境作りに配慮する。梅雨時期の遊びを工夫する。
7月	七夕誕生日会(6・7月) プール始まり わくわく保育	プール遊びの中でルールを守る大切さを知り快適に過ごす。わくわく保育では、いつもと違う保育園を楽しむ。	自分で考え、行動できる様な声掛け雰囲気づくりと環境を整えていく。

8月	プール	プール遊びの中でルールを守る大切さを知り快適に過ごす。季節の行事を知り、夏の風物に興味を持つ。	適切な休息の取り方を知る 行事へ興味・関心が持てる様に環境設定する。
9月	お誕生日会(8・9月) 祖父母参観日 交通安全教室	高齢者の方と触れ合い、親しみを持つ。 相手を思いやる心を大切にする。	相手の思いや考えに気づき、受け入れ様とする態度を育みたい。
10月	お店屋さんごっこ 避難訓練(消防署立会い) 健康診断	働いてくれている人たちへの感謝の気持ちをもつ。お店屋さんごっこを通じて色々な職業に興味を持つ	お店屋さんごっこの中で異年齢児との交流を通して年長児としての自覚を持つ。努力してきた事を認め自信に繋げる
11月	お誕生会(10・11月)	秋の自然に親しみ、自然物を取り入れたあそびを楽しむ。共通の目的を持って、皆で力を合わせて、達成感を味わう喜びを知る	生活や遊びの中で数、文字、図形を使い、関心が深められるようにする。 「ありがとう」が自然に言える様にする。
12月	お遊戯会 お誕生会(12・1月)	共通の目的に向かい、友達と協力し、活動する楽しさや表現する楽しさを知る。	友達の考えに触れ、試したり工夫して新しい考えを生み出す楽しさを味わう
1月	正月あそび	雪や氷に関心を深める。 日本ならではの伝承遊びを知る。	子どもの「なぜ？」に耳を傾け、思考力の芽生えにつなげるようにする。
2月	豆まき お別れ遠足	基本的な生活習慣が身につく自信を持って生活できるようになる。	自分なりの目標を立てることで意欲を引き出していく。
3月	ひな祭り誕生日会(2、3月) 防犯教室(うめ組) 卒園式・お別れ会	卒園する喜びとまわりの人に感謝する気持ちを持つ。進級・就学への期待を持ち園生活を楽しむ。	快適に生活するための約束事を子ども自身が理解し、必要性に気付けるよう声掛けをしていく。

※定期的に外部の講師による教室➡積み木教室(月2回)・そろばん教室(月2回)

体操教室(月1回)・英語教室(月1回)・テニス・空手

※身体測定は、毎月行います。(毎月コミュニナビに個人記録に記入)

※自主避難訓練は、毎月、月初めに行います。

## キ 食事

旬の食材を出来るだけ多く使用し、変化に富んだメニューの提供を心掛ける。又、食育に力を入れる為に、子供たちが厨房を見られる様に設計してあるので、調理しているところを見て、食材にも興味を持ち、食育を育てる。

※献立…毎月、自園の栄養士が献立表を栄養管理献立ソフトにより作成し、それに基づき調理を行う。

※離乳食についても、保護者の方との緊密な連携のもと、スムーズな提供に努める。

(離乳食の進め方については、0歳児クラスの保護者に配布する食事・発達の目安表を活用しながら進めていく。)

※アレルギー除去食へのきめ細かい対応。(特に献立作成時の配慮を心掛ける。)

※ホームページにて、毎日給食の写真を載せる。

※3、4、5才児クラスでは、子どもも配膳用エプロンをして、お当番活動を行う。

※材料は、原則として国産のものを使用するように努める。

(魚や一部の野菜等、やむを得ないものは、輸入品を使用する。)

※魚は、骨抜き加工したものを使用する。

※栄養士が毎月、給食便りを発行し、啓発に努める。

※年1回、嗜好調査をする

## ク 安全管理

非常災害時の自主避難訓練(毎月)

不審者対応・引き渡し訓練の実施(年2回)

### (2) 職員の処遇(4月1日時点)

#### ア 職員構成

園長	1名
副園長	1名
事務長	1名
主任保育士	1名
保育士	10名(常勤・非常勤・育休1名)
保育士	5名(短時間保育士)
看護師	1名
栄養士	2名
事務員	1名
保育補助	2名
嘱託医	2名(小児科医1名・歯科医1名)

## イ 健康管理

健康診断 年 2 回 (4～10月)

## ウ 職員会議

- ・職員全体会議 毎月1回
- ・リーダー会議 毎月1回(園長・主任・副主任)
- ・クラスミーティング クラス単位で毎週1回(園長・主任・クラス担任)
- ・離乳食会議 毎月1回(主任・栄養士・0歳児担任)
- ・献立会議 毎月1回(園長・主任・栄養士)

## エ 研修計画

職員個人別研修計画(自己向上シート)を作成し、それに基づいて適切な研修への参加を勧奨する。(キャリアアップ研修を含む)

## オ 労務規定

就業規則をはじめ各種規定を設け、職員の処遇を担保すると共に、その向上に努める。

## 2 特別保育事業

### ① 緊急一時保育

保護者の都合により子育てが困難な場合に一時的に保育支援を行う。(区委託事業)

### ② 延長保育事業

原則として1時間延長を行い19時までで閉所とする。

### ③ 地域活動推進事業

#### ・世代間交流等事業

利用者の方や地域の方(福祉センターのデイサービス事業や町内会)との交流を通じて、世代間のふれあい活動を行う。

#### ・異年齢児等交流事業

園内での日常的な異年齢保育を積極的に行う他、小学校との連携を図り、児童の社会性を養う。(主にお店屋さんごっこ)

#### ・中学生・短大生・大学生の保育体験事業

学生の職場体験を積極的に受け入れ、子どもや家庭の大切さを理解できるよう乳幼児とふれあう場作りを行う。

### ④ 保育所体験特別事業

- ・在宅親子の抱える悩みの相談窓口となり、必要に応じて関係機関との連携調整に努めます。(子育て相談機能)

### 3 施設管理

#### (1) 事務関係

##### ア 会計事務、管理事務

事務長を中心に適切に行っていく。

##### イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

園長・副園長・主任が統括する。

#### (2) 設備関係 … 機器・遊具の設備点検…定期的に実施する。

#### (3) 備品関係

必要に応じ、備品・消耗品の購入を行う。

尚、仕入れ先は可能な限り限定し、事務効率の向上を図る。

#### (4) 災害対策

##### ア 避難訓練

自主避難訓練 毎月 1回 消防署立会い避難訓練 年 2回

##### イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

### 4 保護者にむけて

#### (1) 保育への理解と協力の促進

##### ア 保育参観

保育参観は日程を複数設定し実施する。運動会、お遊戯会は参加と参観に充てる

##### イ 保護者会

年2回、遠足時に行う。

##### ウ 個人面談

随時相談に応じるが、年1~2回手紙を配布し希望者は行う。

##### エ お知らせ

・クラスだより毎月発行  
・献立表（離乳食・幼児）毎月1回発行

### 5 地域社会との連携

開かれた保育園を目指し、地域との関わりを積極的に持つように努める。

※地元文化祭や行事への参加

※近隣中学校・小学校・保育園・児童館等の教育施設・児童福祉施設との連携

※福祉センターとの連携

※移動図書館との連携